

臣猥リニ庸劣ヲ以テ任ヲ外務ニ辱クニ夙夜  
恐悚以テ報効ヲ謀ル乃チ條約改正ノ議ヲ建ツ  
廟議ノ採納スル所ト為リ命ヲ奉シテ其事ニ當ル  
幸ニシテ上ハ 陛下ノ御威徳ニ頼リ下ハ内閣同僚  
ノ扶助ヲ得テ其業稍ヤク成ルニ垂ントモ不慮傷ヲ  
蒙ル起テ事ヲ視ル能ハサルモノニ閏月其罪實ニ大ナリ  
陛下尚ホ譴責ヲ賜ハラス天使屢々臨テ病ヲ訪ヒ  
且ツ恩賜スル所アリ聖恩優渥山高ク海深シ臣唯感  
泣ヲ知ルノミ頃日創痛將ニ愈ヘントスルニ及ヒ始メテ廟議  
一變シ前案ヲ修正スルニ決スルヲ知ル今ニ迄テ前案ヲ變  
易シ其成功ヲ期スルハ臣 臣力能ク及フ所ニアラス幸ニ賢能ヲ  
舉テ以テ臣ニ代ヘ賜フニ 臣骸骨ヲ以テセハ何ノ幸カ之ニ加ヘン  
陛下臣ヲ遇待スルノ渥キ上ニ記スルカ如クシテ臣 臣國ニ於ル  
寸功ナク敢テ此疏ヲ上ル死シテ餘罪アリ恐懼ノ至リニ勝  
ヘス誠惶誠恐頓首謹請

明治三十二年十二月

外務大臣從二位勲三等伯大隈重信



御辭表御草稿

他見不要

三葉  
外書類添

特別  
114  
D 66